



東久留米市の予算

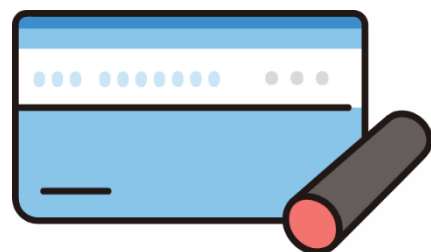
目次

予算の基礎知識	2
予算の状況	4
予算の使いみち	9
財政の状況	13

東久留米市企画経営室財政課

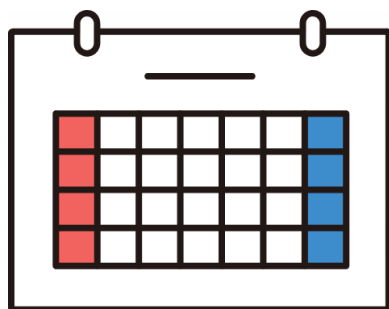


東久留米市の会計



東久留米市の予算には、**大きく3つの会計**があります。
「**一般会計**」は、一般的な行政にかかるお金を支払うためのお財布、
「**特別会計**」と「**公営企業会計**」は、決まった用途にお金を支払うための
お財布となっています。

予算の成立



市長が予算案を市議会に提案し、それを市議会が承認して
予算が成立します。

東久留米市では、令和7年度予算案を令和7年の2月末に
市議会へ提出し、議会の審議を経て、承認されています。
令和7年度は、この予算に従って行政サービスを実施していく
ことになります。

▶ 補正予算



年度の途中に予定外の支出が求められたり、予定していたより収入が増減することがあります。そのような場合は、「**補正予算案**」を市長が市議会に提出し、承認されれば予算の内容を変更することができます。

▶ 歳入と歳出



歳入 = 歳出

予算書には、市の1年間の収入見込の全てが「**歳入**」欄に、1年間の支出見込の全てが「**歳出**」欄に記されています。歳入と歳出の総額は同じ額となります。

令和7年度の予算（全体）

令和7年度の東久留米市の予算を見てみましょう。

予算総額



一般会計の当初予算額は、507億6,000万円となり、前年度より29億3,900万円（6.1%）増となっています。

一般会計

区分	令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	増減額	増減率 (%)
一般会計	507億6,000万円	478億2,100万円	29億3,900万円	6.1

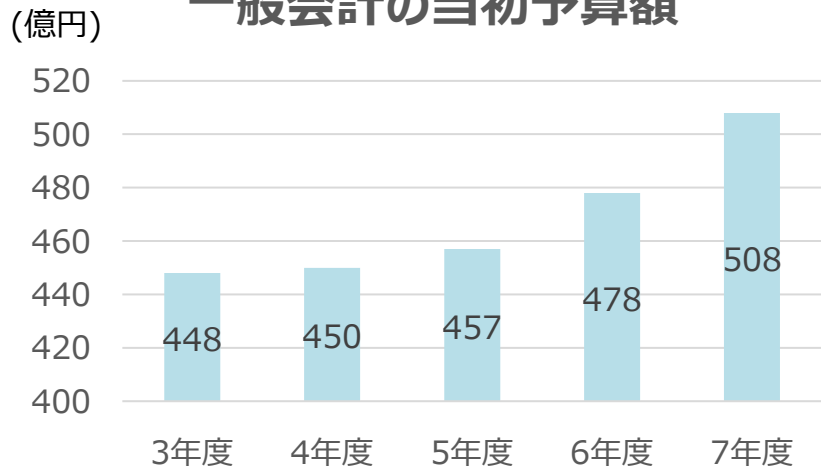
特別会計

区分	令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	増減額	増減率 (%)
国民健康保険 特別会計	114億2,273万9千円	118億2,447万2千円	△4億173万3千円	△3.4
後期高齢者医療 特別会計	39億7,661万6千円	38億6,217万6千円	1億1,444万円	3.0
介護保険 特別会計	114億3,991万5千円	110億5,961万5千円	3億8,030万円	3.4
合計	268億3,927万円	267億4,626万3千円	9,300万7千円	0.3

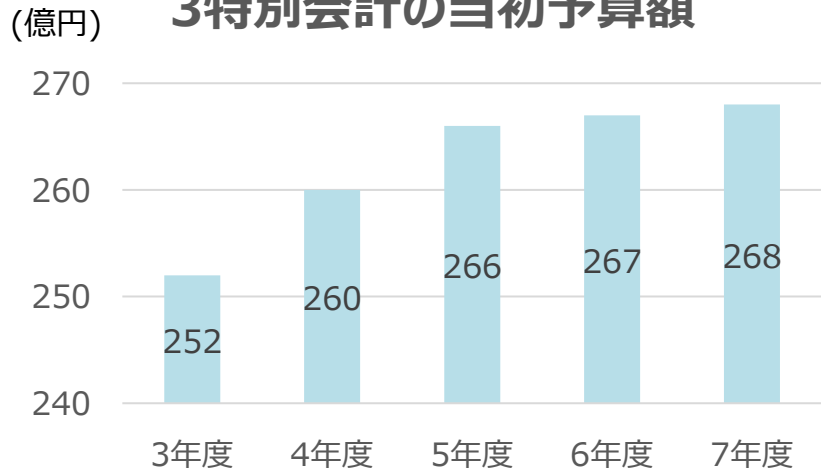
公営企業会計（下水道事業会計）

区分	令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	増減額	増減率 (%)
収益的収入	24億3,899万2千円	23億2,482万8千円	1億1,416万4千円	4.9
収益的支出	24億275万円	22億9,059万3千円	1億1,215万7千円	4.9
資本的収入	14億4,168万3千円	9億9,975万6千円	4億4,192万7千円	44.2
資本的支出	20億4,171万7千円	16億4,335万2千円	3億9,836万5千円	24.2

一般会計の当初予算額



3特別会計の当初予算額



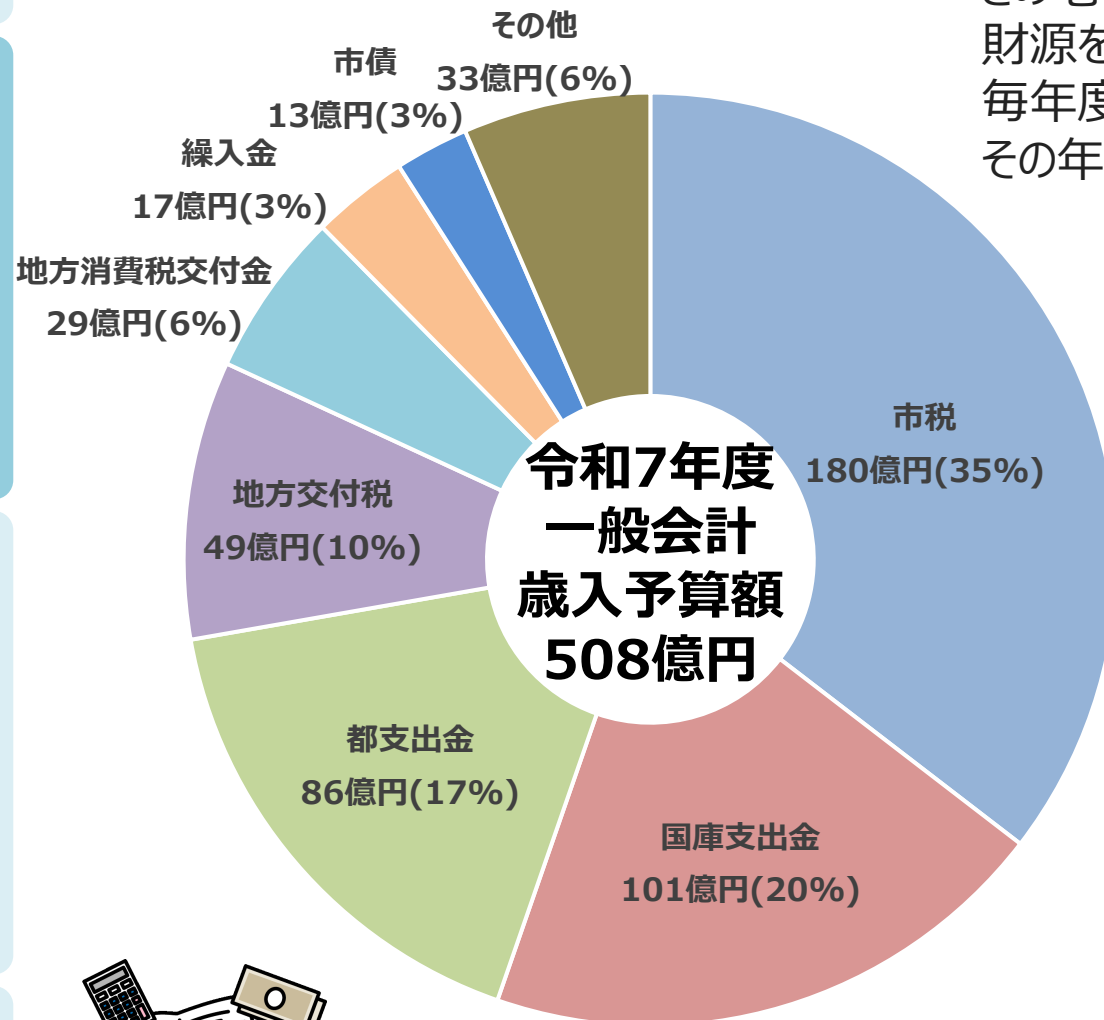
一般会計、特別会計の予算額は**増加傾向**が続いています。



令和7年度の予算（歳入）

一般会計の歳入にはどのようなものがある、どのくらいの金額なのか見てみましょう。

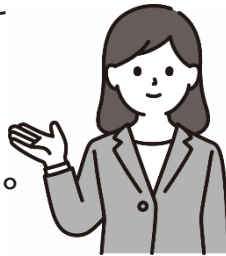
歳入（1年間の収入）



市税のほかにも、国や都からのお金も使いながら財政運営をしています。
歳入の中で最も大きな割合を占める市税については、次のページで詳しく解説します。

地方交付税は、地方公共団体の財源の不均衡を調整し、どの地域に住む住民にも一定の行政サービスを提供できるように財源を保障しているものです。

毎年度、一定の算式により計算し交付される**普通交付税**と、その年度の特異な事情により交付される**特別交付税**があります。

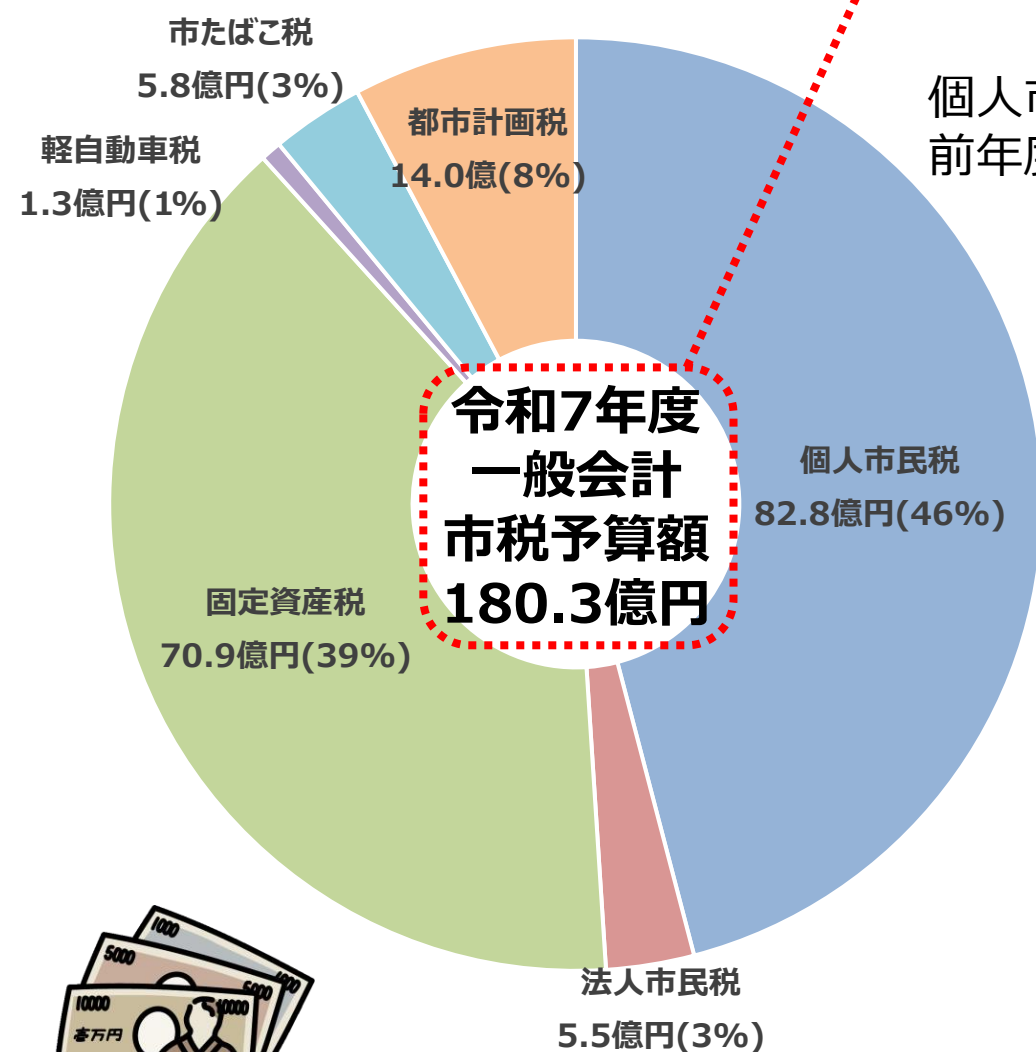


歳入の種類	割合	内容
市税	35%	市民の皆さんから東久留米市に納めていただく税金
国庫支出金	20%	国から使いみちを特定して交付されるお金
都支出金	17%	都から使いみちを特定して交付されるお金
地方交付税	10%	自治体の財政状況に応じて配分されるお金
地方消費税交付金	6%	地方消費税として課税される都民税の一部が、人口の割合に応じて都から市に交付されるお金
繰入金	3%	他の会計や基金から繰り入れるお金
市債	3%	学校や道路の整備などのために借り入れるお金
その他	6%	寄附金や前年度に余ったお金など

令和7年度の予算（市税）

一般会計の歳入の中で最も大きな割合を占めるのは「市税」です。
市税の内訳を見てみましょう。

市税の内訳



市税の当初予算額は、180億3,199万1千円となり、前年度より11億2,487万3千円（6.7%）増となっています。

個人市民税の当初予算額は、82億7,878万2千円となり、前年度より11億5,366万4千円（16.2%）増となっています。



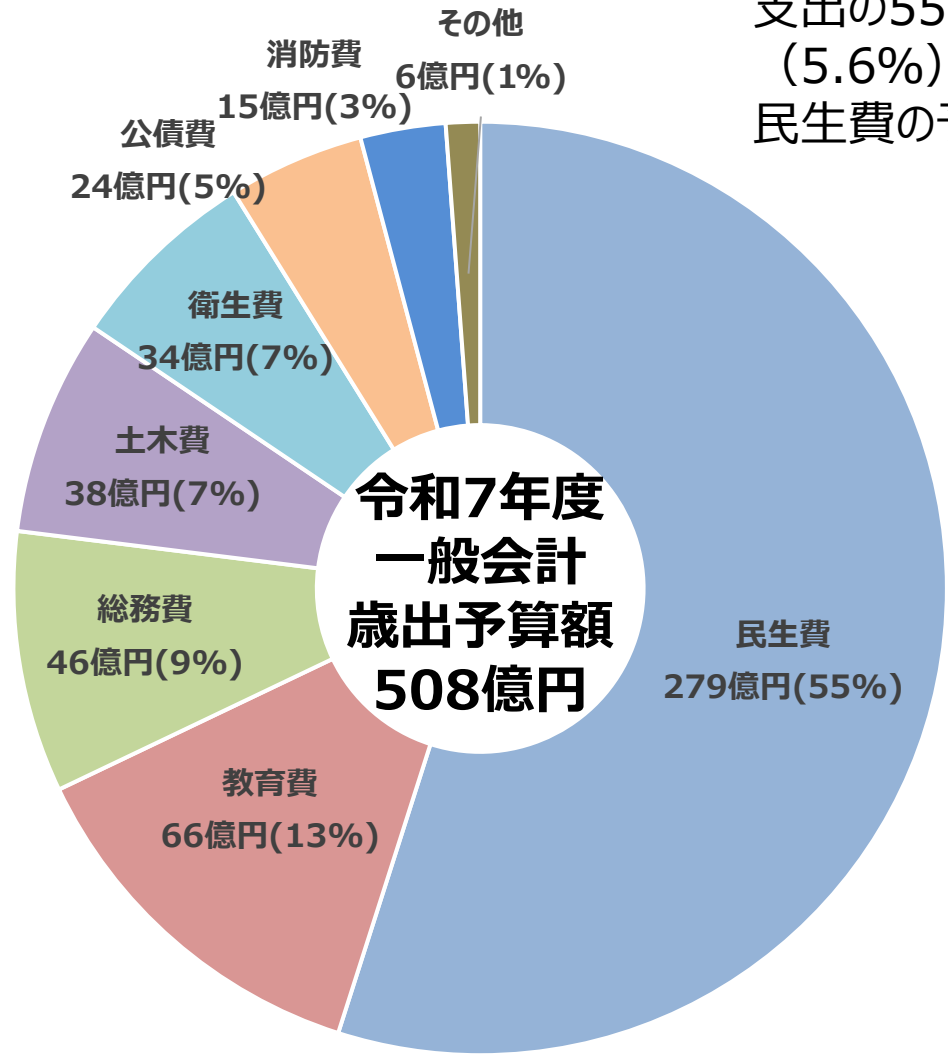
市税は、**使いみちが特定されず、どのような経費にも使用することができるお金**（一般財源）です。
一般財源は、市税のほかに地方譲与税や地方交付税などがあります。

令和7年度の予算（歳出）

一般会計の歳出にはどのようなものがあって、どのくらいの金額なのか見てみましょう。

歳出（1年間の支出）

民生費は、社会福祉の充実を図るために使われるお金で、支出の55%を占め、前年度より14億8,424万4千円（5.6%）増となっています。
民生費の予算額は、**増加傾向**が続いています。



歳出の種類	割合	内容
民生費	55%	子ども、高齢者、障害者などの福祉のために使われるお金
教育費	13%	義務教育や文化・スポーツなどのために使われるお金
総務費	9%	市政運営のために使われるお金
土木費	7%	道路・橋や公園整備などのまちづくりのために使われるお金
衛生費	7%	健康づくりやごみ処理などのために使われるお金
公債費	5%	借金返済のために使われるお金
消防費	3%	火災、地震などの災害対策のために使われるお金
その他	1%	農業・商工振興や議会運営などのために使われるお金

各項目に含まれる**職員人件費の合計**は、51億2,106万6千円で、前年度より1億8,743万1千円（3.8%）増となっています。



1 予算の基礎知識

2 予算の状況

3 予算の使いみち

4 財政の状況

令和7年度の予算（繰出金）

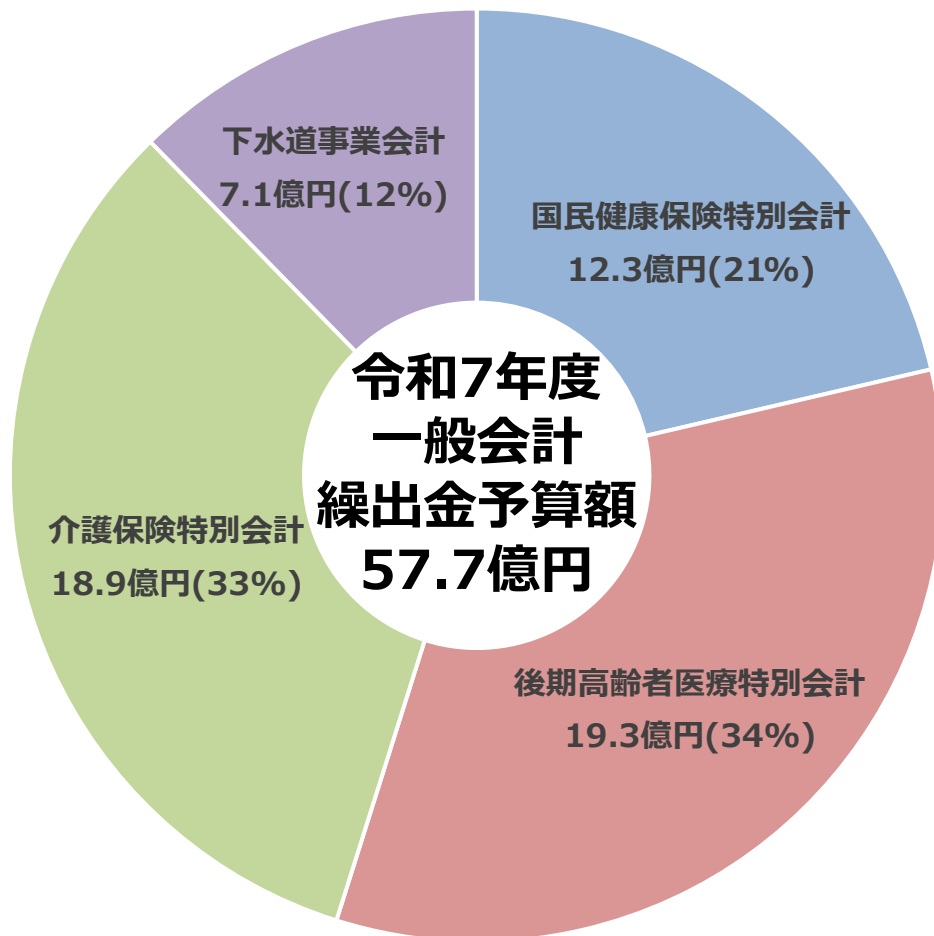
一般会計から特別会計及び公営企業会計への繰出金について見てみましょう。

繰出金

東久留米市には、3つの特別会計と公営企業会計があり、それぞれ独自の収入によって事業を行っていますが、それだけでは足りないため、**一般会計から市税等の一部を投入して**（繰り出して）運営されています。

このため、特別会計と公営企業会計の赤字が大きくなると市財政全体に影響が出てしまいます。

特別会計と公営企業会計も健全な運営が求められます。



特別会計

公営企業会計

会計の種類	事業の内容
国民健康保険特別会計	自営業を営む人など社会保険に加入していない74歳までの人が加入する医療保険で、加入者が納める国民健康保険税などによって運営されています。
後期高齢者医療特別会計	75歳以上の高齢者(※)が加入する医療保険で、国や都・市の公費や、現役世代からの支援金、加入者が納める保険料によって運営されています。 ※一定の障害がある方は65歳から加入できます。
介護保険特別会計	居宅や施設で介護サービスをうけられるように給付事業を行っており、40歳以上の方が納める介護保険料などによって運営されています。
下水道事業会計	下水道施設の運営や、維持・更新のための事業を行っており、水道料金と共に使用者が納める下水道使用料などによって運営されています。

令和7年度の主な事業

令和7年度に予定している主要な事業を、東久留米市第5次長期総合計画における基本目標ごとに記載しています。

基本構想実現のために

予算額
114万円

市役所窓口キャッシュレス決済機能導入

窓口における手数料等の収納にクレジットカード、電子マネー等によるキャッシュレス決済機能を導入します。



予算額
6,865万円

近未来型市役所実現に向けた基本計画策定等

近未来型市役所実現ビジョンの示す方向性や取り組むべき内容に基づき、近未来型市役所を具体化するための整備工事において実施する整備の考え方等を示す基本計画を策定します。



共に創るにぎわいあふれるまち

予算額
1億6,007万円

南部地域センター空調冷温水発生機更新等工事

南部地域センターの空調設備である冷温水発生機を更新します。また、当該機器を設置する屋根部分の防水改修工事を行います。



予算額
2,616万円

東部地域センターエレベーター更新工事

東部地域センターのエレベーターを更新します。



令和7年度の主な事業

令和7年度に予定している主要な事業を、東久留米市第5次長期総合計画における基本目標ごとに記載しています。

安心して快適にすごせるまち

ボール遊びのできる公園整備工事



予算額
1,629万円

ボール遊びができる公園整備として、小山第2緑地に防球ネットの整備を行います。
また、小山第2緑地と幸町一丁目都営公園を対象に、地域の子供達から意見を伺いながら、バスケットゴールやサッカーゴールなどを整備します。



子供の広場整備実施設計

子供達とのワークショップで出された意見を踏まえ、一部の子供の広場を整備するための実施設計を行います。



予算額
3,781万円

竹林公園整備工事

竹林公園に、車いすでも通行ができるデッキや、子供の居場所となるパーゴラを設置します。



予算額
4,450万円

令和7年度の主な事業

令和7年度に予定している主要な事業を、東久留米市第5次長期総合計画における基本目標ごとに記載しています。

いきいきと健康に暮らせるまち

認知症の普及啓発・検診事業

認知症に関する普及啓発とスクリーニングを実施し、認知症の疑いのある高齢者に医療機関への受診勧奨を行うとともに、予防策の講座や地域包括支援センター等への必要な支援につなげます。

予算額
1,245万円



デジタルマップ等アプリの構築

健康づくり応援アプリ「るるめナビ」に、熱中症予防や防災マップ等の情報を追加します。また、市民への普及を図るため、イベントでの周知活動や高齢者対象の「るるめナビ 活用説明会」、ポイントで市内特産品等が当たる抽選会等を開催します。

予算額
991万円



自然と共生する環境にやさしいまち

第三次環境基本計画・地球温暖化対策 実行計画（区域施策編）策定

環境審議会、環境基本計画等検討部会での検討結果や、ワークショップでの意見交換を踏まえ、令和8年度からの第三次環境基本計画(地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編))を策定します。

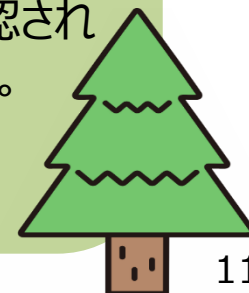
予算額
449万円



ナラ枯れ対策のための樹木伐採

森林病虫害であるカシノナガキクイムシが媒介する「ナラ菌」による通称「ナラ枯れ」の被害が確認されている野火止用水地域の対策を実施します。

予算額
4,000万円



令和7年度の主な事業

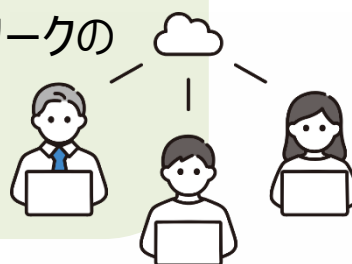
令和7年度に予定している主要な事業を、東久留米市第5次長期総合計画における基本目標ごとに記載しています。

子どもが豊かに成長できるまち

予算額
2億3,968万円

校内情報通信ネットワーク環境の改善整備

GIGAスクール構想において令和2年度に小・中学校に整備した1人1台端末の活用を促進するために、校内情報通信ネットワークの通信速度改善を行います。



予算額
1億3,386万円

学習用パソコン（GIGA端末）の更新

GIGAスクール構想において令和2年度に小・中学校に整備した学習用パソコンについて、令和7年10月にOSのサポートが終了するため、機器入れ替えを行います。



予算額
9,562万円

校務系システムのクラウド化

現在、小・中学校各校にサーバーを設置して運用している校務系システムをクラウド化し、校務用・学習用パソコンの自宅等での利用可能範囲を拡大します。また、各校のホームページ管理の統一と、情報セキュリティの向上を図ります。



予算額
2億6,772万円

中学校給食へのあたたかい献立の導入

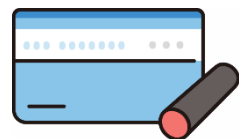
令和7年度2学期(9月)から導入予定の中学校給食における個別容器を用いた「あたたかい献立」の提供について、給食容器類及び備品類を購入します。併せて、「あたたかい献立」の提供に対する調理体制の整備を行います。



東久留米市の財政状況（貯金）

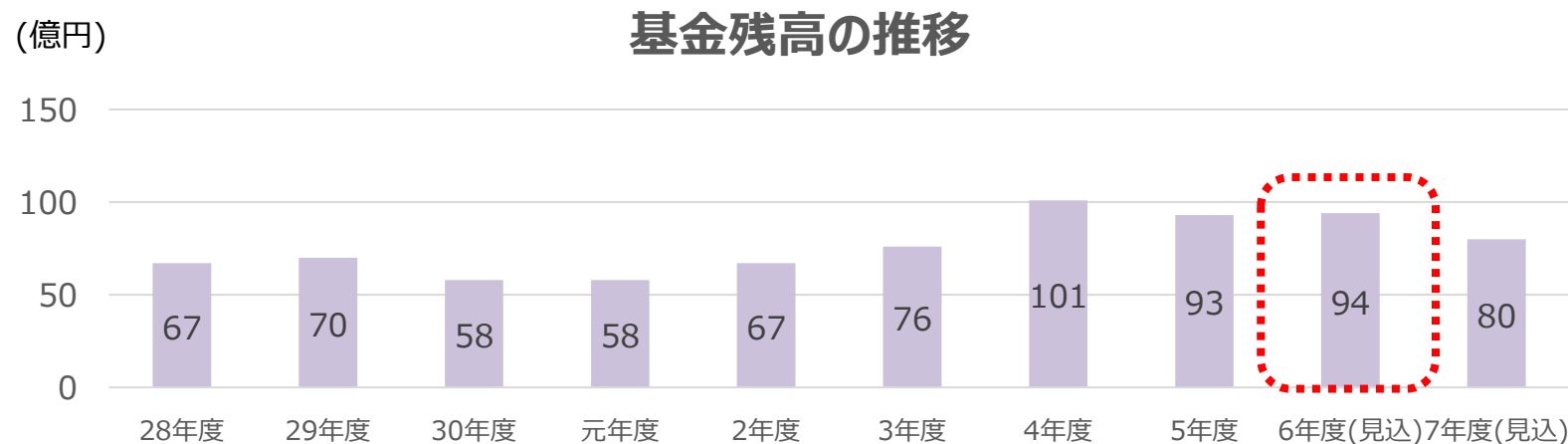
東久留米市にはどれくらいの貯金があるのかを見てみましょう。

貯金の種類と推移



一般会計の**貯金の種類と金額**について説明します。
市の貯金を「**基金**」といいます。

基金の名称	使いみち	令和7年度末 現在高見込み
財政調整基金	災害時への備えや、年度間の収入の調整のために使える積立金	19億5,647万円
ふるさと創生基金	伝統・文化の保存や産業等の総合的視点から、特色のあるまちづくりのために使える積立金	6,887万円
公共施設等整備基金	公共施設の整備や維持補修のために限って使える積立金	29億5,690万円
みどりの基金	緑地の保全や緑地推進のために限って使える積立金	8億9,280万円
自転車等駐車場整備基金	自転車等駐車場を整備することに限って使える積立金	3,458万円
都市計画事業基金	道路建設などの都市計画事業や土地区画整理事業のために限って使える積立金	18億634万円
教育振興基金	学校教育施設の整備や、教育用の備品購入のために限って使える積立金	2,253万円
郷土美術館建設基金	市民の芸術作品や歴史的な文化財を展示する施設を建設するために限って使える積立金	1億7,770万円
森林環境譲与税基金	森林の整備やその促進に関する施策のために限って使える積立金	1,596万円



東久留米市の基金残高の推移です。
令和6年度末の残高見込みは94億円です。

東久留米市の財政状況（借金）

東久留米市にはどれくらいの借金があるのかを見てみましょう。

借金の推移



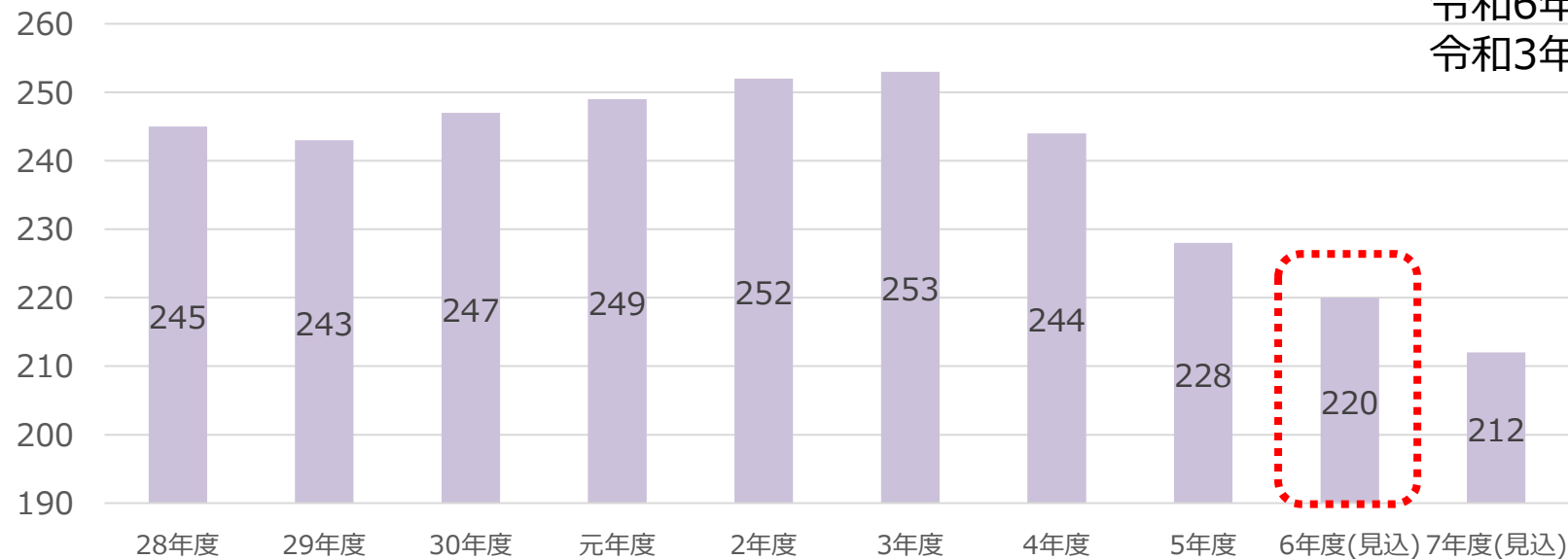
市の借金を「**地方債**」といいます。

国の財政において地方交付税の財源が不足しているため、地方交付税の振り替え措置として、交付されるべき金額の一部を市が借金（地方債を発行）して財源を確保する制度があり、この借金分を「**臨時財政対策債**」といいます。

東久留米市の借金残高の**およそ7割**は、臨時財政対策債の残高となっています。

(億円)

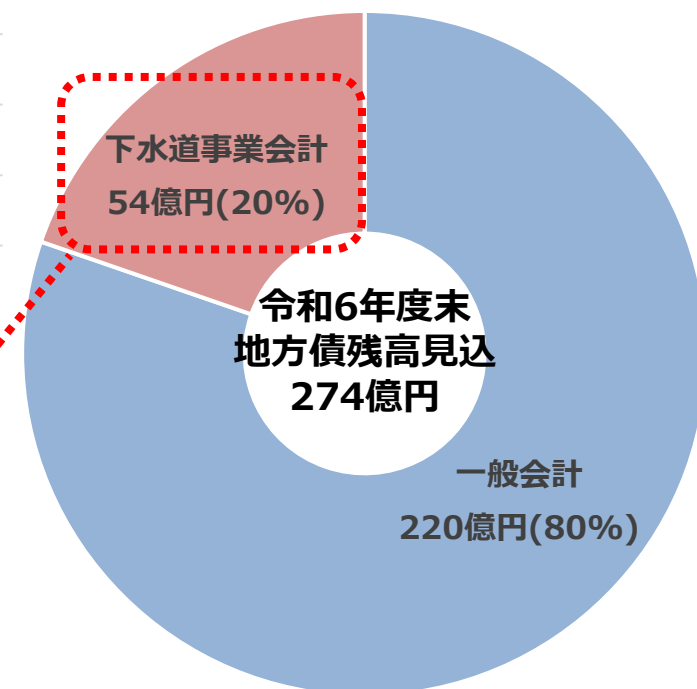
地方債残高の推移



一般会計の地方債残高の推移です。
令和6年度末の残高見込みは220億円です。
令和3年度以降は**減少傾向**が続いています。



下水道事業会計における令和6年度末の地方債残高見込みは54億円です。
東久留米市の令和6年度末地方債残高は274億円であり、
下水道事業会計の残高は20%を占めます。



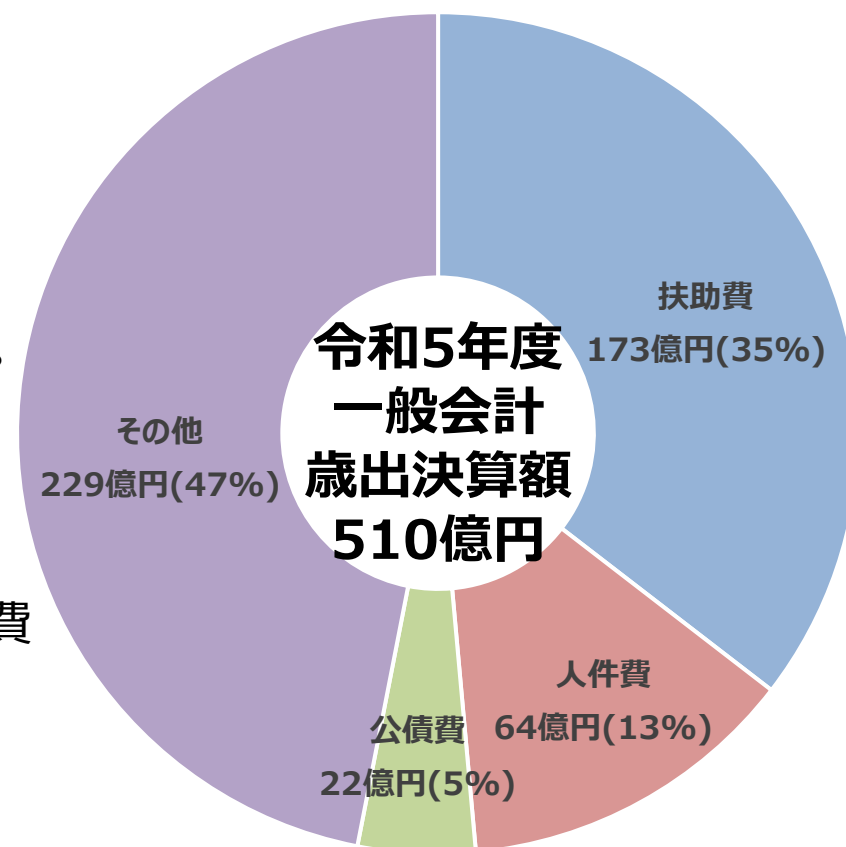
東久留米市の財政状況（義務的経費）

歳出決算額の半分以上を占める
義務的経費について決算をもとに説明します。

義務的経費



歳出のうち、その支出が法令などで義務づけられている経費として、人件費、扶助費、公債費を一般的に**義務的経費**といいます。義務的経費は、東久留米市の歳出全体の半分以上を占めています。

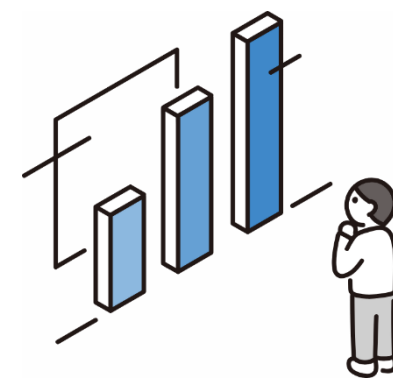


「**扶助費**」 児童手当、生活保護など、主に福祉や医療の給付に必要な経費

「**人件費**」 職員給与や議員報酬などの経費

「**公債費**」 市の借金である地方債の返済に要する経費

区分	令和5年度決算額	令和4年度決算額	増減額	増減率
扶助費	172億5,371万1千円	161億4,763万円	11億608万1千円	6.8%
人件費	63億5,280万2千円	61億2,071万6千円	2億3,208万6千円	3.8%
公債費	21億6,826万8千円	21億3,054万7千円	3,772万1千円	1.8%
義務的経費 計	257億7,478万1千円	243億9,889万3千円	13億7,588万8千円	5.6%
歳出総額	486億8,439万4千円	499億5,325万8千円	△12億6,886万4千円	△2.5%



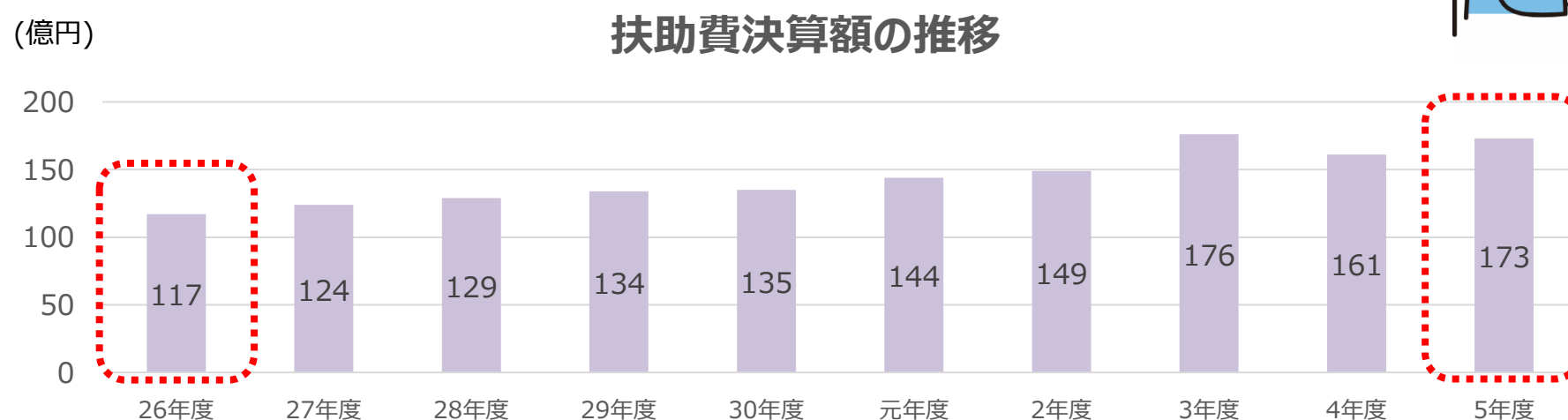
義務的経費の決算額は、前年度より5.6%増加しています。

東久留米市の財政状況（扶助費）

義務的経費のうち大きな割合を占める扶助費について決算をもとに解説します。

扶助費

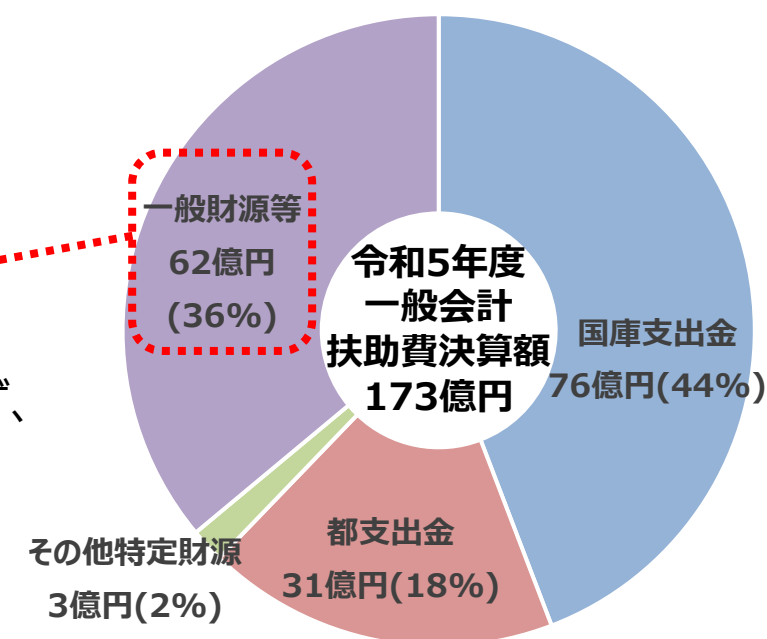
扶助費の決算額は、10年間で**約56億円増加しています**。
今後においても高齢化の進行等により増加が見込まれます。



扶助費の財源内訳のうち、市の負担額である「一般財源等」は62億円で、36%を占めます。

一般財源とは、市税等のように、使いみちが特定されず、どのような経費にも使用することができるお金です。

扶助費の財源内訳



さらに予算や財政を知りたい場合

市ホームページや広報ひがしくるめをご覧ください。



市ホームページでは、次の情報を公表しています。

種類	内容
予算	・ 予算編成方針 ・ 予算の概要 ・ 当初予算書 ・ 補正予算書
決算	・ 決算書 ・ 財務書類 ・ 固定資産台帳 ・ 財政状況資料集 ・ 決算カード ・ 財政健全化判断比率等 ・ 森林環境譲与税の使途
財政状況	・ 各年度の財政状況

広報ひがしくるめでは、
予算や決算の情報を
毎年お知らせしています。



湧水の妖精
るるめちゃん



市役所1階の市政情報コーナーにて予算書そのものをご覧いただけます。
また、当初予算書を有料(1,700円)で頒布しています。